

1年の折り返し、更なる充実した取組へ！

5月は授業参観やPTA総会、家庭訪問、PTA役員会や理事会、町内一斉引き渡し訓練、また部活動の大会への応援等、保護者の皆様にはご多用の中、多くのご協力をいただきありがとうございました。早いもので令和7年も1年の折り返しとなりました。もう半年も経つのかとの思いもありますが、これからの半年に向けてより充実した活動ができるようみんなで盛り上げていけたらと思っています。1学期も後半、今月、PTAの関係では、学校開放週間がありました。実施方法等で行き届かない点もあったかと思いますが、一つ一つの行事・取組を振り返り、今後の活動にいかしていきたいと考えております。これからも学校・家庭が連携し、一緒に歩んでいきたいと考えていますので、よろしくお願いします。

町内一斉引き渡し訓練

5月21日(水)町内一斉で引き渡し訓練が行われました。避難訓練を行った後、安心メールで保護者に通知し、お迎えに来ていただきました。今年度は、下山小と連絡を取り合う中で連携できる部分を確認し実施しました。保護者の皆様には、実際の有事を想定し、車も使えない状況や連絡手段がない場合もありますので、ご家族で確認すべきことをしっかりと話し合っておいていただきたいと思います。



校内研究会

本校では、今年度の校内研究として、研究テーマ「協働的な学びを大切に、生徒主体の授業づくり」を掲げ、学校教育目標の実現に向けて取り組むこととしました。

5月22日(木)には、文部科学省で学力調査官も務めたことのある、数学教育が専門の清水宏幸・山梨大学教授を招聘し、「主体的・対話的で深い学びの授業の創造」と題した学習会を行いました。VUCAの時代と言われる予測困難な社会に生きて働く資質や能力を身に付けるために、生徒自身が主体的に学びたいような授業をどうつくっていくかについて、たくさんのご示唆をいただきました。下山小の教頭先生と研究主任の先生もご参加いただき、有意義な学習会となりました。今後の授業に生かせるようにしていきたいと思っています。



生徒総会 生徒会スローガン「繋げ」

5月26日(月)には、今年度第1回目の生徒総会が行われました。

生徒総会は、今年度1年間の生徒会活動について全校生徒で話あう大切な会です。生徒一人一人が「自分たちの生徒会活動を自分たちで創る」という意識(当事者意識)を持って、活発な議論が交わされる会でもあります。学校長から、生徒会活動を充実していくためには、それぞれの人の「生徒会活動に対する思いや願いの強さ、その方向性が大事である」という話をしました。生徒一人一人は身延中学校生徒会の構成員ですが、それぞれが身延中学校や生徒会活動に対する思いや願いを持っていると思います。一人一人みんなが考えていることを持ち寄り、一つの方角に向けて議論を重ね、よりよい身延中学校・充実した身



延中生徒会活動を創っていくことができれば素晴らしいと思っています。大切なことは、それぞれの思いや願いの方向性・ベクトルの向きを可能な限り一致させ、同じ方向を見て進むことです。議案書には、思いや願いを自分たちの原動力に変え、縦と横の関係を繋ぐ、地域の方々と繋がる、町唯一の中学校として応援したいと思える自慢の学校になることを目指し、「繋げ」というスローガンが提案され承認されました。鼓舞し奮い立たせることを意図して「繋げ」としています。そして、それを達成するための重点目標が提案されました。全校からは「賛成意見」もたくさん出されましたが、「質問」や「要望意見」、「呼びかけ意見」が出された他、修正案も出されました。輝桜祭の取組も含め、「より良いとは」について議論が交わされました。スローガンや具体的目標を具現化し、より実効的な取り組みを創り上げていくのはこれからです。執行部の願いと全生徒会員の思いを重ね、これからも同じ方向を見据えた生徒会活動が展開することを楽しみにしています。



第 1 回学校評議員会

5月29日(木)第1回の学校評議員会が行われました。5名の評議員の方々は、長年、身延中の評議員をお務めいただいているので、身延中学校のことを熟知されています。最初に各クラスの授業の様子を参観していただき、その後、学校長より、学校経営の基本方針や4月からの生徒の様子について報告させていただきました。評議員の皆様からいただいた様々なご示唆と励ましの言葉を今後の学校経営にいかしていきたいと思ひます。



各種会議が行われました

6月2日(月)には、町教育委員会が主催の学校運営協議会設置準備委員会が本校で行われました。身延町の小中学校の管理職、保護者代表、学校評議員2名が集まり、県教育庁義務教育課から富高副主幹・指導主事を招聘して学習会が行われました。また、6月4日(水)には、町教育委員会主催の部活動地域移行協議会がPTA 役員や地域のスポーツ協会やスポーツ少年団の代表者が集まり下部地区公民館で行われました。県教育庁保健体育課の田鹿副主幹・指導主事を招聘し、他地区での部活動地域移行の進捗状況や最新の情報を教えていただきました。これから大きな変化が学校にあり、ますます地域や保護者の皆様にはご理解とご協力をいただかなければならないと思ひます。よろしくお祈ひします。



教育実習終了

6月6日(金)に、5月19日(月)から本校卒業生の県立大学生・内藤先生の教育実習が終了しました。1年A組に所属して、英語の授業を行ってまいりました。部活動はバドミントン部を受け持ち、生徒と一緒に活動してまいりました。3週間という短い期間でしたが、熱心に教材研究を行い授業実践をしたり、部活動ではラケットを握って、シャトルを打ったりするなど、様々な活動を生徒と共にまいりました。4日(水)には、Canを使った疑問文についての授業を行い、放課後研究会が行われました。内藤先生は、「周囲に先生方も授業を参観していたこともあり緊張した」とのことでしたが、落ち着いた感じで楽しく授業が展開されてまいりました。最終日は生徒も内藤先生も名残惜しそうでした。「3週間ありがとうございました」と廊下で生徒が内藤先生に声掛けをしている姿が印象的でした。生徒にとっても内藤先生との出会いは他に代えがたい機会となったと思ひます。

